05　犬山市奥入鹿

犬山市の入鹿池北東端から五条川川沿いには, 美濃帯のチャート, 砂岩泥岩, 石灰岩が見られます。

入鹿池東側の入鹿大橋から五条川沿いに入ると八曽のキャンプ場の駐車場があります。ここから先に五条川沿いに歩くと，左手に名古屋大学の犬山地殻変動観測所があります。今は無人になっていますが，地震計や地殻変動の観測機器がトンネル内に設置してあります（図 3：図 1EQ)。

さらに奥に行くと丸山橋があり，わたって 200m ほどいくと八曽の石灰岩がチャート，頁岩，砂岩の中にレンズ状に見られます（図 5：図 1 LS)。後期ペルム紀のフズリナ化石(*Lepidolina multiseptata, Reichelina* sp.，　*Codonofusiella* sp.やサンゴ化石が報告されています(足立ほか,1971)。

八曽山（標高 327 m）へ向かう途中には八曽の滝（山伏の滝）があります（図 4)。侵食に弱い砂岩頁岩とチャートの境界です。

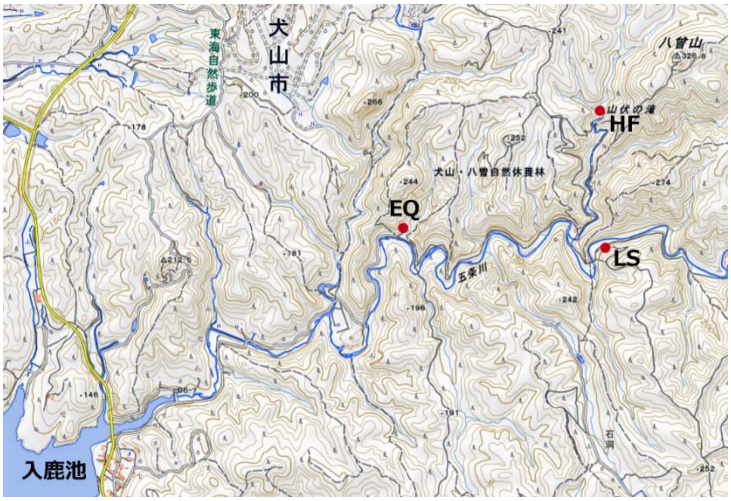


図 1　ポイント（地理院地図に加筆）

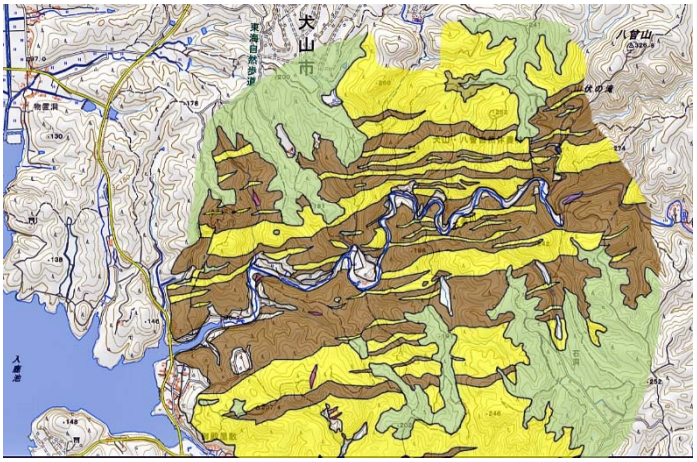


図 2　地質図（宇井，1969 に加色　地形図は地理院地図）

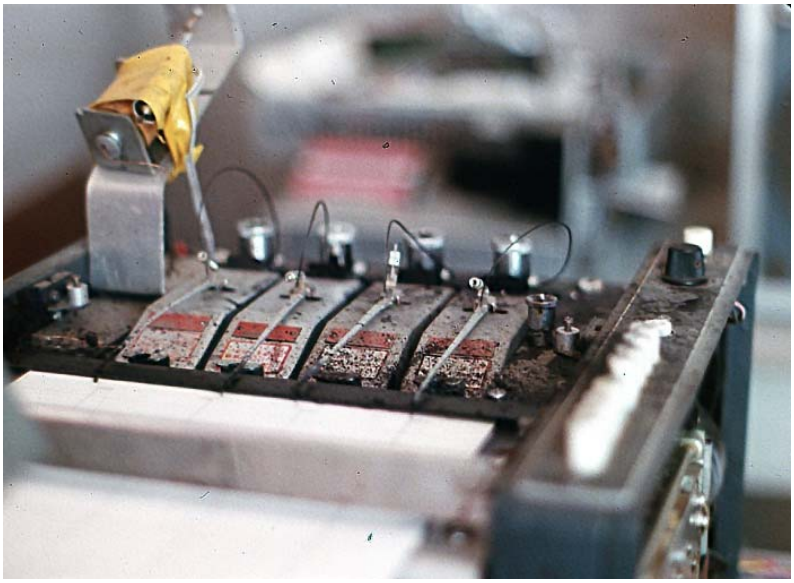






図３　名古屋大学犬山地殻変動観測所

地震計（左上）

土地伸縮計（上）

水管傾斜計（左）



図４　八曽の滝

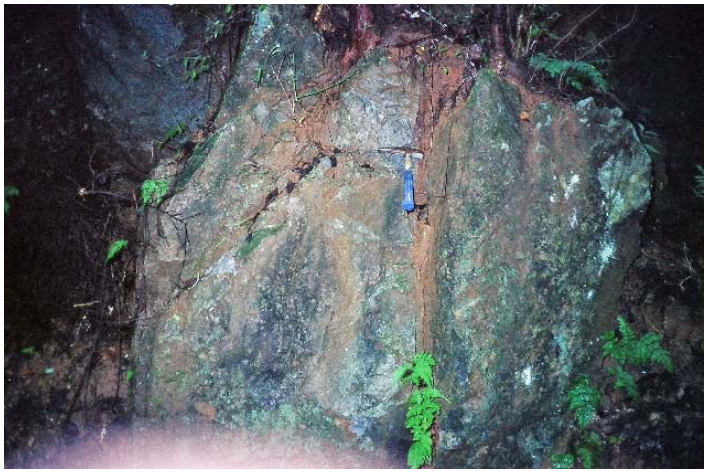


図 5　石灰岩

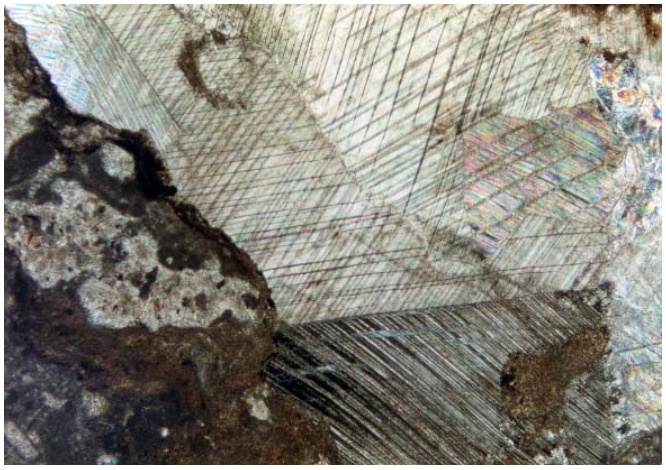


図 6　石灰岩の顕微鏡写真

参考文献

足立 守，水谷伸治郎，1971，美濃帯古生層の sole markings と古流系について．地質学論集，6，39-48.

村松憲一，2019，愛知県の地質とジオサイト．189p.

宇井啓高，1969，名古屋大学理学部犬山地殻変動観測所観測坑内の割れ目について．名古屋地学，24，15-23.

吉田光善，1978，日本ライン・犬山　in 愛知県地学のガイド．28-46．コロナ社.

【村松憲一】